

もっとう！
手取りを増やす！

「人や知をつむぎ、未来へ橋を架ける」

—— 人への投資で、誰もが挑戦し続けられる社会へ ——

国民民主党の掲げる「手取りを増やす経済」「人づくりこそ国づくり」を実現するため、現場の声を政策につなぎ、私は「未来へ架ける橋」として、次の5つのテーマを提案していきます。

三宅さゆみ「未来へ架ける5の橋」

① 現役世代の手取りを増やす

▶ 「社会を支える働き手が疲弊しない社会」こそ、持続可能な社会保障の基盤です!!

- 税・社会保険料の見直しにより、現役世代の手取りを増やす経済政策を実行
- 働く若者への所得税減税を実現
- ケアワーカー(医療・介護・福祉・保育に従事する方々)の賃上げと処遇改善
- 専門性や経験が正しく評価される仕組みを整え、キャリア形成と人材定着を支援
- 人員配置基準の見直しやICT活用により、現場の過重負担を軽減

② 学びと挑戦をあきらめない社会

▶ 知への投資により、次の産業と地域の未来を生み出します!!

- 奨学金制度について、給付型の拡充や返済減免制度の拡大
- 大学研究費・科学研究費(科研費)を拡充し、基礎研究から応用研究まで、研究分野への投資を拡大

④ 地域で生き、人生を全うできる社会へ

- ▶ 「住み慣れた地域で、最期まで暮らせる社会」を守ります!!
- 一次産業の担い手確保と所得向上に向け、制度の見直しと支援の拡充
 - 離島・中山間地域・過疎地域において、事業承継、移住・定住支援を進めるとともに、教育・医療・介護・福祉の地域間格差を是正
 - 本人と家族が望む最期を支えられるよう、終末期医療・介護の充実(人生会議の普及・制度化等)
 - 国土の安全保障と地域の暮らしを守る観点から、土地利用の実態把握と適切なルールを作る

③ 産み、育て、働き続けられる環境づくり

▶ 積極的な子育て支援で、地域の元気を作ります!!

- 育休・産休に関わる給付を拡充し、加入保険や働き方の違いによって生じている支援の格差を是正
- 保育園・学童保育の量と質の確保を進め、待機児童や保育の質の課題を解消
- ひとり親家庭や、特別な支援を必要とする子どもへの支援体制を強化
- 障害児福祉について、所得制限の見直し・撤廃

⑤ 信頼される政治で未来を託せる社会へ

▶ 抜本的な社会制度改革を進めるために、信頼される政治の「土台」を作ります!!

- 政治資金の徹底した透明化
- 政治資金収支報告書の見える化・デジタル化を推進
- 政治資金規正法違反などに対する厳正な対応と再発防止

三宅さゆみ プロフィール

博士・理学療法士

[生年月日] 平成2年11月10日

[略歴]

平成28年 訪問看護ステーションに理学療法士として勤務
社会福祉法人に機能訓練士として勤務
令和4年～ 国立大学法人 岡山大学大学院社会文化
令和5年 科学研究科に非常勤研究員として勤務
令和7年 国立大学法人 岡山大学大学院社会文化
科学研究科修了

- 倉敷市児島に最も近い島、瀬戸内海・塩飽諸島出身。
- 2013年から倉敷市内の医療・介護・福祉の現場で勤務。現在は倉敷市内の理学療法士養成校で講師として勤務し、岡山大学大学院客員研究員として研究活動も継続。
- 労働者協同組合sou代表理事。● 35歳、一児の母。

三宅さゆみ